

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2019年3月26日から2024年1月25日
運用方針	安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日興アセットマネジメント株式会社が運用する「デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎年3月、9月の各25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。※ただし、第1期の決算時においては収益分配を行いません。

# デンマーク・カバード債券・インカムファンド2019-03 （為替ヘッジあり）

## 運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2019年9月25日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、「デンマーク・カバード債券・インカムファンド2019-03（為替ヘッジあり）」は2019年9月25日に第1期の決算を行いました。

ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### スカイオーシャン・アセットマネジメント

〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<http://www.soam.co.jp/>  
サポートデスク：045-225-1651

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円		%	百万円
2019年3月26日	10,000		—	—	—	9,041
1期(2019年9月25日)	9,993		—	△0.1	99.5	16,712

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2019年3月26日	10,000		—	—
3月末	10,025		0.3	99.3
4月末	9,985		△0.2	99.4
5月末	10,034		0.3	99.5
6月末	10,036		0.4	99.6
7月末	10,028		0.3	99.6
8月末	10,034		0.3	99.7
(期 末)				
2019年9月25日	9,993		△0.1	99.5

(注) 騰落率は設定日比です。

## ○運用経過

（2019年3月26日～2019年9月25日）

## 期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,993円（既払分配金（税込み）：－円）

騰落率：△ 0.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」の基準価額（分配金再投資ベース）は小幅に上昇しましたが、信託報酬等の要因により、当ファンドの基準価額は下落しました。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）	デンマークのカバード債券	99.5%	0.2%
FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）	わが国の公社債	0.0%	-0.1%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドの組入日からのものです。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

## 投資環境

当期間の市況に主に影響を与えたのは、2019年8月に米中貿易摩擦が再燃したことおよび米国連邦準備制度理事会（FRB）と欧州中央銀行（ECB）が利下げを実施する中で世界の中央銀行が金融緩和的な姿勢を一段と強めたことでした。ECBは9月の会合で指標金利を0.10%引き下げるとともに量的緩和の再開を決定し、デンマークの中央銀行は量的緩和は行わないもののECBの利下げに追随して主要政策金利を引き下げました。一方、FRBは期間中に7月および9月の会合で2度にわたり各々0.25%の利下げを実施しました。中央銀行の量的緩和による市場介入が世界的に続くとの予想から、世界の債券利回りは低下し、特に、欧州では債券利回りが過去最低水準となったため、デンマークの期限前償還のあるモーゲージ債の2019年7月および10月の期限前償還率は過去最高水準に達しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### ○当ファンド

「デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

#### ・デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）

ポートフォリオについては、債券市場の利回り低下が顕著となったことから、クーポンが2.0%および2.5%の銘柄からクーポンのより低い1.0%および1.5%の銘柄に入れ替えて、期限前償還考慮後デュレーションを長めとすることに注力しました。当期間における対円での為替ヘッジのプレミアム<sup>\*</sup>は概ね横ばいの0.42%となりました。

<sup>\*</sup>対デンマーク・クローネの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出したものです。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 分配金

分配方針に基づき、第1期の決算については、収益分配を行わないこととしました。  
 なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第1期
	2019年3月26日～ 2019年9月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### ○当ファンド

「デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」への投資を通じて、主としてデンマークのカバード債券に投資します。

#### ・デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）

原則として、カバード債券の各発行体の信用力や財務状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）に照らして投資を行なう方針です。また、ファンドが投資する銘柄のクーポン、発行体、満期、元金支払いのタイプおよびポートフォリオ全体のデュレーション等については、その変更を柔軟に検討する方針です。外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

#### ・F0Fs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。

## ○1万口当たりの費用明細

（2019年3月26日～2019年9月25日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	26	0.255	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(8)	(0.079)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.163)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.258	
期中の平均基準価額は、10,023円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年3月26日～2019年9月25日）

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）	16,782,802,599	17,022,000	416,218,525	423,500
	FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）	100,939	100	—	—
合計		16,782,903,538	17,022,100	416,218,525	423,500

(注) 金額は受け渡し代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月26日～2019年9月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年3月26日～2019年9月25日）

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月26日～2019年9月25日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年9月25日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	当 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
		口	千円	%
デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）		16,366,584,074	16,630,086	99.5
FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）		100,939	99	0.0
合 計		16,366,685,013	16,630,185	99.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	16,630,185	99.0
コール・ローン等、その他	175,514	1.0
投資信託財産総額	16,805,699	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年9月25日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,805,699,806
コール・ローン等	122,513,830
投資信託受益証券(評価額)	16,630,185,976
未収入金	53,000,000
(B) 負債	92,963,302
未払解約金	52,093,866
未払信託報酬	40,438,959
未払利息	335
その他未払費用	430,142
(C) 純資産総額(A-B)	16,712,736,504
元本	16,724,432,075
次期繰越損益金	△ 11,695,571
(D) 受益権総口数	16,724,432.075口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,993円

(注) 当ファンドの設定時元本額は9,041,042,243円、期中追加設定元本額は8,073,802,829円、期中一部解約元本額は390,412,997円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9993円です。

(注) 2019年9月25日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は11,695,571円です。

○損益の状況（2019年3月26日～2019年9月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,422,010
受取配当金	11,515,933
支払利息	△ 93,923
(B) 有価証券売買損益	30,726,531
売買益	31,586,077
売買損	△ 859,546
(C) 信託報酬等	△40,869,101
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,279,440
(E) 追加信託差損益金	△12,975,011
(配当等相当額)	( 2,619,021)
(売買損益相当額)	(△15,594,032)
(F) 計(D+E)	△11,695,571
次期繰越損益金(F)	△11,695,571
追加信託差損益金	△12,975,011
(配当等相当額)	( 2,619,021)
(売買損益相当額)	(△15,594,032)
分配準備積立金	1,279,440

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

## デンマーク・カバードボンド・ファンド (為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)

### 運用報告書(全体版)

第1期(決算日 2019年4月16日)

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「デンマーク・カバードボンド・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)」は、2019年4月16日に第1期の決算を行ないましたので、第1期の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券(私募)	
信託期間	2019年3月15日から2029年4月16日までです。	
運用方針	主として、「デンマーク・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド3」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	デンマーク・カバードボンド・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)	「デンマーク・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド3」受益証券を主要投資対象とします。
	デンマーク・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド3	デンマークのカバードボンドを主要投資対象とします。
組入制限	デンマーク・カバードボンド・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	デンマーク・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド3	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<644641>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	純資産額
		税金	込配	み金 期騰落		
(設定日)	円			円	%	百万円
2019年3月15日	10,000			—	—	10
1期(2019年4月16日)	10,105			10	103.2	11,646

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	標準価額		債組入比率	券率
			騰	落率		
第1期	(設定日)	円		%		%
	2019年3月15日	10,000		—		—
	3月末	10,173		1.7		106.1
	(期 末)					
	2019年4月16日	10,115		1.2		103.2

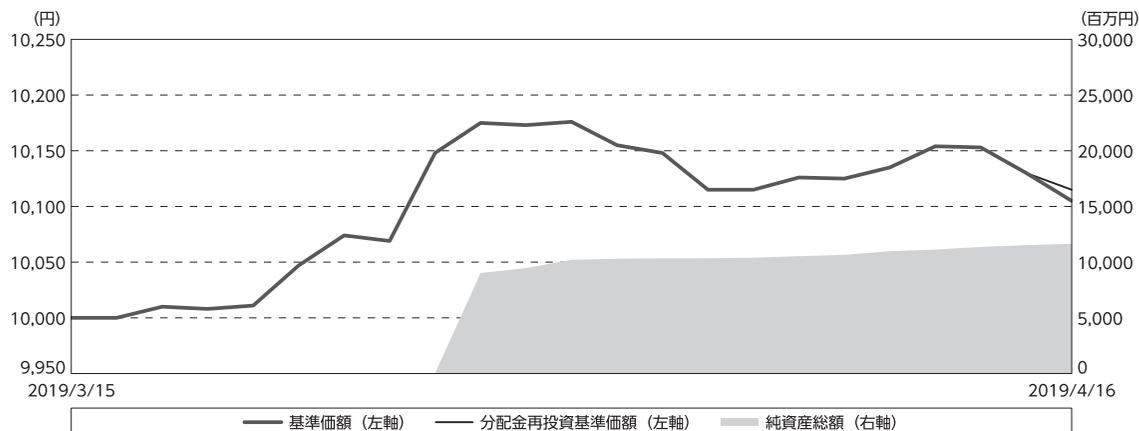
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2019年3月15日～2019年4月16日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,105円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資債券の利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・信用スプレッド（利回り格差）が縮小したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・期限前償還が加速したこと。

## 投資環境

（デンマーク債券市況）

当期間のデンマーク・モーゲージ債市場は、主に3つの要因から影響を受けました。第1に、政府が既存の公営住宅ローンの借り換えを継続し、最終的に発表されたところでは、最終償還が2047年で表面利率が1.5%の債券について残高の44%が期限前償還されました。第2に、欧州中央銀行（ECB）が当初、貸出条件付き長期資金供給オペ（TLTRO）の延長を見合わせる一方で、米国連邦準備制度理事会（FRB）が2018年第4四半期の市場の混乱を受けて引き締め政策を大きく後退させるなか、欧州の購買担当者景気指数（PMI）および経済成長見通しの鈍化を受けて欧州の債券利回りは低下傾向を辿りました。第3に、中央銀行の量的緩和による市場介入が世界的に続くとの予想から、世界的に債券利回りが低下し、特に欧州債券ではそれが顕著となったため、それが材料となってデンマークのコーラブル・モーゲージ債の期限前償還モデルに基づくデュレーション（金利感応度）は短期化しました。世界の債券市場が上昇したのと同様に、当期間のデンマーク・モーゲージ債市場のトータル・リターンもプラスとなり、デュレーションが同程度の国債のリターンを上回りました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

新しいオンザラン（直近発行）指標銘柄への移行に注目しながら、LTV比率（担保物件の評価額に対するローンの比率）が低く資本比率と超過担保の水準が高い債券を選別することをめざしました。また、ポートフォリオ全体のデュレーションは、対インデックスでやや長めのポジションを維持しました。外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2019年3月15日～ 2019年4月16日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.099%
当期の収益	6
当期の収益以外	3
翌期繰越分配対象額	104

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

2019年は欧州連合（EU）加盟国の幾つかでも国政選挙が実施されます。大衆迎合主義（ポピュリズム）はこれまでも欧州の選挙を左右する要因となってきましたが、今後もその状況が続くと考えられます。大衆迎合主義者（ポピュリスト）政党は、赤字削減や銀行セクターにおける改革の取り組みを抑制すると同時に、欧州の統合ではなく分断の強まりを促進することにより、欧州市場のリスクを高める要因となると思われます。経済面では、進行中の米中貿易摩擦の影響がユーロ圏の製造業にも波及している模様で、世界の経済成長が減速しているのと同様に、ユーロ圏でも直近の一連の指標が経済活動鈍化の継続を示しています。経済成長の減速やインフレ見通しの鈍化を受けて、ECBは最終的に金融政策正常化の計画を保留し、銀行にさらなる資金流動性を供給するとともに、利上げを2020年まで先延ばしにしました。

原則として、カバードボンドの各発行体の信用力や財務状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）に照らして投資を行なう方針です。また、ファンドが投資する銘柄のクーポン、発行体、満期、元利金支払いのタイプおよびポートフォリオ全体のデュレーションとコンベクシティについては、その変更を柔軟に検討する方針です。外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月15日～2019年4月16日)

項 目	第 1 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 3	% 0.032	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(3)	(0.028)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(0)	(0.001)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	(0)	(0.003)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	(1)	(0.006)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.038	
作成期間の平均基準価額は、10,173円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2019年3月15日～2019年4月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第 1 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	千口 11,453,208	千円 11,626,692	千口 —	千円 —

○利害関係人との取引状況等

（2019年3月15日～2019年4月16日）

利害関係人との取引状況

<デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）>

区 分	第1期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 34	百万円 34	% 100.0	百万円 34	百万円 34	% 100.0

<デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3>

区 分	第1期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6	百万円 6	% 100.0	百万円 6	百万円 6	% 100.0

平均保有割合 96.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年3月15日～2019年4月16日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年3月15日～2019年4月16日）

設定時 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 10	百万円 -	百万円 -	百万円 10	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年4月16日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第1期末	
		口数	評価額
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3		千口 11,453,208	千円 11,589,501

(注) 親投資信託の2019年4月16日現在の受益権総口数は、11,880,041千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2019年4月16日現在)

項目	第1期末	
	評価額	比率
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	千円 11,589,501	% 99.4
コール・ローン等、その他	71,307	0.6
投資信託財産総額	11,660,808	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3において、当作成期末における外貨建純資産（12,174,138千円）の投資信託財産総額（12,631,621千円）に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1デンマーククローネ=16.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

○損益の状況

項 目	第 1 期末	
	2019年 4 月 16 日現在	
	円	
(A) 資産	11,660,808,671	
コール・ローン等	71,306,775	
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3（評価額）	11,589,501,896	
(B) 負債	14,012,897	
未払収益分配金	11,525,932	
未払信託報酬	1,941,976	
未払利息	116	
その他未払費用	544,873	
(C) 純資産総額（A－B）	11,646,795,774	
元本	11,525,932,517	
次期繰越損益金	120,863,257	
(D) 受益権総口数	11,525,932,517口	
1 万口当たり基準価額（C/D）	10,105円	

項 目	第 1 期	
	2019年 3 月 15 日～ 2019年 4 月 16 日	
	円	
(A) 配当等収益	△	1,271
支払利息	△	1,271
(B) 有価証券売買損益	△	37,190,157
売買損	△	37,190,157
(C) 信託報酬等	△	2,486,866
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△	39,678,294
(E) 追加信託差損益金		172,067,483
（配当等相当額）	（△）	115
（売買損益相当額）	（	172,067,598）
(F) 計（D＋E）		132,389,189
(G) 収益分配金	△	11,525,932
次期繰越損益金（F＋G）		120,863,257
追加信託差損益金		168,171,718
（売買損益相当額）	（	168,171,718）
分配準備積立金		90
繰越損益金	△	47,308,551

(注) 当ファンドの設定時元本額は10,000,000円、第1期中追加設定元本額は11,515,932,517円、第1期中一部解約元本額は0円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第1期1.0105円です。

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2019年3月15日～2019年4月16日の期間に当ファンドが負担した費用は1,355,339円です。

(注) 分配金の計算過程（2019年3月15日～2019年4月16日）は以下の通りです。

項 目	2019年 3 月 15 日～ 2019年 4 月 16 日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,630,257円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	124,758,932円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	132,389,189円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	114円
g. 分配金	11,525,932円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

	第1期
1万口当たり分配金（税込み）	10円

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2019年3月15日から2019年4月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

# デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3

## 運用概要

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年3月15日から原則無期限です。
運用方針	主として、デンマークのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	デンマークのカバードボンドを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ファンド概要

主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ポートフォリオの構築にあたっては、発行体の信用力や利回りの水準などを重視し、リスク分散を考慮しながら決定します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 日興アセットマネジメント

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	信託期間は2010年6月14日から無期限です。	
運用方針	主として、「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。	
主要運用対象	FOFs用 短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組入制限	FOFs用 短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)	外貨建資産への投資は行いません。
	短期金融資産 マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針にもとづき、分配を行います。</p> <p>(1) 分配対象額の範囲 経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>(2) 分配対象額についての分配方針 委託者が、基準価額水準、市況動向等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>	

## FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)

### 運用報告書(全体版)

第8期(決算日 2018年9月25日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

### お問い合わせ先

フリーダイヤル: 0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

スマートフォンサイト <http://s.smtam.jp/>

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

**【本運用報告書の記載について】**

- ・ 基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・ 原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・ 一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・ 指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物率	純資産額
	(分配)	税金	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
第4期(2014年9月25日)	9,984	0	△0.0	97.0	—	11
第5期(2015年9月25日)	9,975	0	△0.1	57.8	—	2
第6期(2016年9月26日)	9,962	0	△0.1	35.9	—	4
第7期(2017年9月25日)	9,941	0	△0.2	3.9	—	6
第8期(2018年9月25日)	9,920	0	△0.2	3.7	—	9

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

## 当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物率
	騰落率	騰落率		
(当期首)	円	%	%	%
2017年 9月25日	9,941	—	3.9	—
9月末	9,941	0.0	3.9	—
10月末	9,939	△0.0	2.9	—
11月末	9,937	△0.0	1.8	—
12月末	9,936	△0.1	1.8	—
2018年 1月末	9,934	△0.1	1.8	—
2月末	9,933	△0.1	1.7	—
3月末	9,929	△0.1	3.8	—
4月末	9,928	△0.1	1.1	—
5月末	9,926	△0.2	1.1	—
6月末	9,924	△0.2	1.1	—
7月末	9,922	△0.2	1.1	—
8月末	9,921	△0.2	1.1	—
(当期末)				
2018年 9月25日	9,920	△0.2	3.7	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

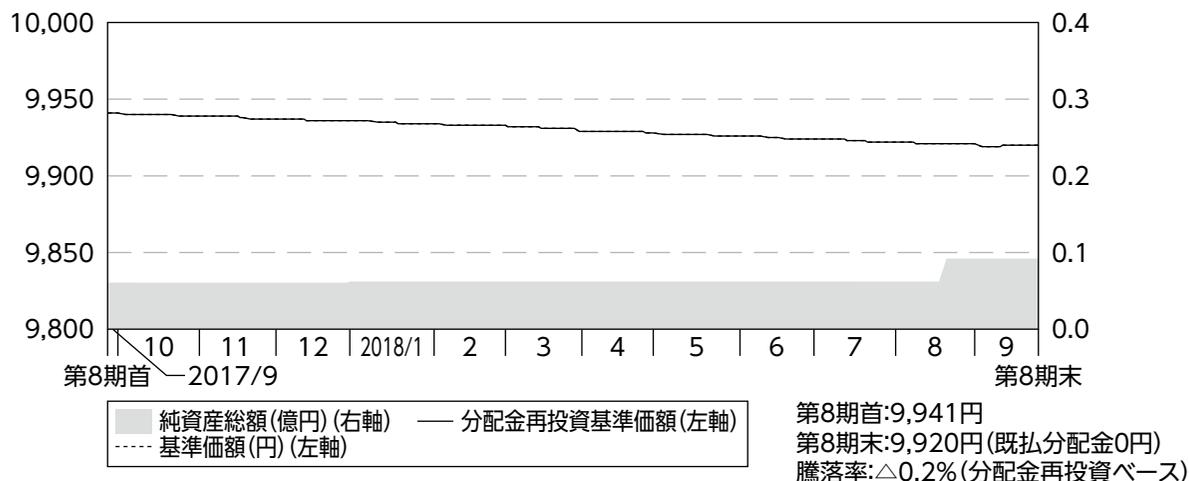
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

### 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

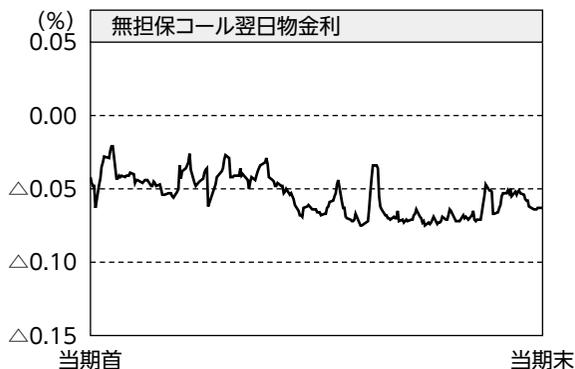
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年9月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

### 基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08~△0.02%近辺で推移しました。このような中、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの短期債の組み入れやコールローン等の比率を高めましたが、信託報酬などのコスト要因により基準価額は小幅に下落しました。

## 投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.02%近辺で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

### 【「短期金融資産 マザーファンド」の運用経過】

日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、国債より利回りの高い非国債セクターの短期債を組み入れました。ファンドとしては、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

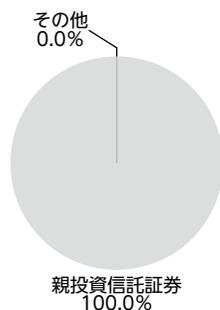
## 当ファンドの組入資産の内容

### ○組入ファンド

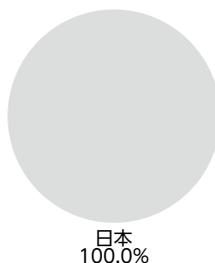
	当期末
	2018年9月25日
短期金融資産 マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

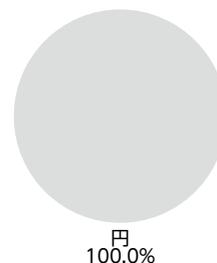
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定していません。

## 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第8期	
	2017年9月26日～2018年9月25日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	483

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

# 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	14円	0.140%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,930円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(11)	(0.108)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(2)	(0.022)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.005	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	14	0.145	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 売買および取引の状況

### <親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 3,105	千円 3,148	千口 8	千円 8

## 利害関係人<sup>※</sup>との取引状況等

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
金 銭 信 託	百万円 0.019871	百万円 0.019871	100.0	百万円 0.019871	百万円 0.019871	100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	1	0.304786	30.5	1	0.304112	30.4

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

### <短期金融資産 マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
金 銭 信 託	百万円 103,141	百万円 103,141	100.0	百万円 103,141	百万円 103,141	100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	4,879,181	1,112,377	22.8	4,878,729	1,112,130	22.8

<平均保有割合 0.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

### <親投資信託残高>

	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 5,988	千口 9,085	千円 9,210

(注)親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、8,059,144千口です。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 9,210	% 99.9
コール・ローン等、その他	10	0.1
投資信託財産総額	9,220	100.0

## 資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2018年9月25日現在
(A)資 産	9,220,056円
コール・ローン等	9,285
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	9,210,735
未 収 入 金	36
(B)負 債	4,862
未 払 信 託 報 酬	4,715
そ の 他 未 払 費 用	147
(C)純 資 産 総 額(A-B)	9,215,194
元 本	9,289,891
次 期 繰 越 損 益 金	△74,697
(D)受 益 権 総 口 数	9,289,891口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,920円

### ■損益の状況

項 目	当 期 自 2017年9月26日 至 2018年9月25日
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	△4,989円
売 買 損	△4,989
(B)信 託 報 酬 等	△9,069
(C)当 期 損 益 金(A+B)	△14,058
(D)前 期 繰 越 損 益 金	△20,040
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
(配 当 等 相 当 額)	(353,075)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△393,674)
(F) 計 (C+D+E)	△74,697
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△74,697
追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
(配 当 等 相 当 額)	(353,010)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△393,609)
分 配 準 備 積 立 金	95,831
繰 越 損 益 金	△129,929

- (注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は6,115,034円、期中追加設定元本額は3,174,857円、期中一部解約元本額は0円です。

※分配金の計算過程

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	－円
(B) 有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円
(C) 収益調整金額	353,010円
(D) 分配準備積立金額	95,831円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	448,841円
(F) 期末残存口数	9,289,891口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり)(E/F×10,000)	483円
(H) 分配金額(1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	－円

## お知らせ

該当事項はありません。

# 短期金融資産 マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2018年9月25日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2007年9月26日から無期限です。
運用方針	わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

### 【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未满是切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比	純資産額
	期騰	中落率	期騰	中落率			
第7期(2014年9月25日)	円 10,145	% 0.1	10,108	% 0.1	% 97.0	% —	百万円 7,100
第8期(2015年9月25日)	10,151	0.1	10,115	0.1	57.8	—	7,434
第9期(2016年9月26日)	10,153	0.0	10,116	0.0	36.0	—	7,659
第10期(2017年9月25日)	10,146	△0.1	10,111	△0.0	3.9	—	7,717
第11期(2018年9月25日)	10,138	△0.1	10,106	△0.1	3.7	—	8,170

(注)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

## 当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比
	騰	落率	騰	落率		
(当期首) 2017年9月25日	円 10,146	% —	10,111	% —	% 3.9	% —
9月末	10,146	0.0	10,111	△0.0	3.9	—
10月末	10,145	△0.0	10,111	△0.0	2.9	—
11月末	10,144	△0.0	10,110	△0.0	1.8	—
12月末	10,144	△0.0	10,110	△0.0	1.8	—
2018年1月末	10,143	△0.0	10,110	△0.0	1.8	—
2月末	10,143	△0.0	10,109	△0.0	1.7	—
3月末	10,141	△0.0	10,109	△0.0	3.8	—
4月末	10,141	△0.0	10,108	△0.0	1.1	—
5月末	10,140	△0.1	10,108	△0.0	1.1	—
6月末	10,139	△0.1	10,107	△0.0	1.1	—
7月末	10,138	△0.1	10,106	△0.0	1.1	—
8月末	10,138	△0.1	10,106	△0.1	1.1	—
(当期末) 2018年9月25日	10,138	△0.1	10,106	△0.1	3.7	—

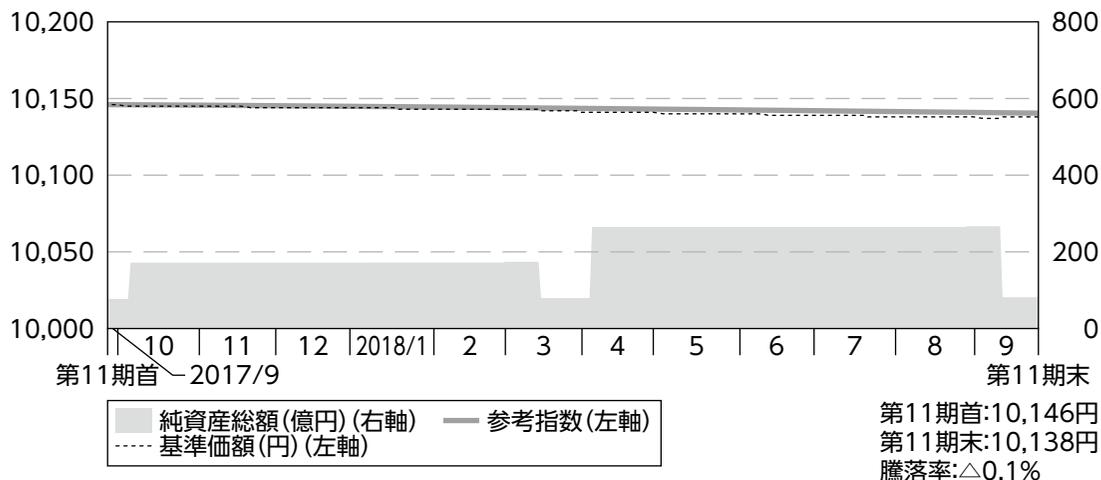
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

参考指数は、無担保コール翌日物金利の累積投資収益率で、設定日を10,000として指数化しております。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

### 基準価額等の推移

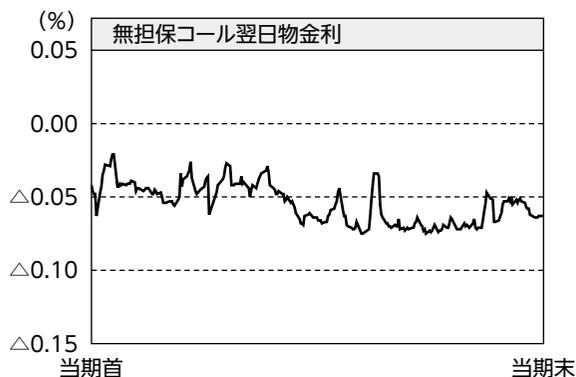


(注)参考指数は、2017年9月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

### 基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.02%近辺で推移しました。このような中、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの短期債の組み入れやコールローン等の比率を高めることにより、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

## 投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.02%近辺で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、国債より利回りの高い非国債セクターの短期債を組み入れました。ファンドとしては、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

## 当ファンドの組入資産の内容

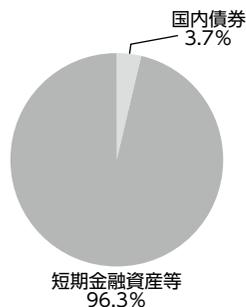
### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	第316回中国電力株式会社社債	日本	1.2%
2	第424回中部電力株式会社社債	日本	1.2%
3	第358回中国電力株式会社社債	日本	1.2%
4	――	――	――
5	――	――	――
6	――	――	――

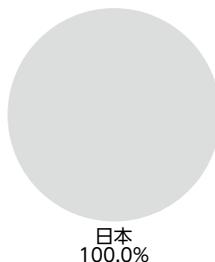
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	――	――	――
8	――	――	――
9	――	――	――
10	――	――	――
組入銘柄数		3	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

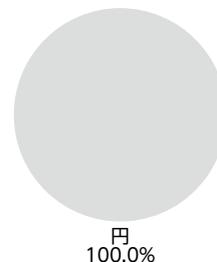
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分

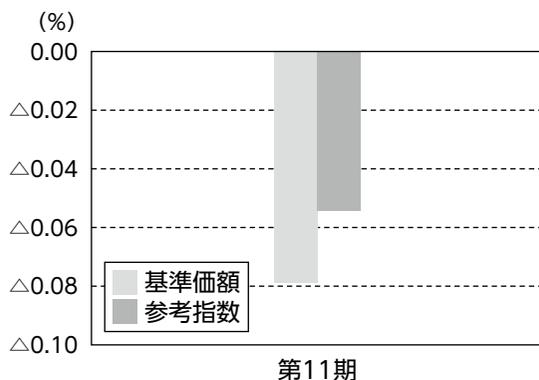


(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 今後の運用方針

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	-円 (-) (-) (-) (-) (-) (-)	-% (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	- (-) (-) (-) (-) (-)	- (-) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用  (保管費用)  (監査費用) (その他)	0  (-)  (-) (0)	0.003  (-)  (-) (0.003)	(c) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合計	0	0.003	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(10,141円)で除して100を乗じたものです。

## 売買および取引の状況

### < 公社債 >

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券（投資法人債券を含む）	千円 306,087	千円 — (300,000)

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) ( )内は償還による減少分です。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 利害関係人<sup>\*</sup>との取引状況等

### ■ 利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 103,141	百万円 103,141	% 100.0	百万円 103,141	百万円 103,141	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	4,879,181	1,112,377	22.8	4,878,729	1,112,130	22.8

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

\* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

## ＜国内(邦貨建)公社債＞

## (A) 債券種類別開示

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	300,000 (300,000)	300,610 (300,610)	3.7 (3.7)	— (—)	— (—)	— (—)	3.7 (3.7)
合 計	300,000 (300,000)	300,610 (300,610)	3.7 (3.7)	— (—)	— (—)	— (—)	3.7 (3.7)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ( )内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当		期		末	
	利 率 (%)	額 面 金 額 (千円)	評 価 額 (千円)	償 還 年 月 日		
普通社債券(含む投資法人債券)						
第424回中部電力株式会社社債	2.0	100,000	100,306	2018/11/22		
第316回中国電力株式会社社債	2.075	100,000	100,167	2018/10/25		
第358回中国電力株式会社社債	1.702	100,000	100,137	2018/10/25		
合 計		300,000	300,610			

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 300,610	% 3.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,869,434	96.3
投 資 信 託 財 産 総 額	8,170,044	100.0

## 資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2018年9月25日現在
(A)資 産	8,170,044,750円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,867,177,742
公 社 債(評価額)	300,610,000
未 収 利 息	2,257,008
(B)負 債	28,432
未 払 解 約 金	10,036
未 払 利 息	17,997
そ の 他 未 払 費 用	399
(C)純 資 産 総 額(A-B)	8,170,016,318
元 本	8,059,144,217
次 期 繰 越 損 益 金	110,872,101
(D)受 益 権 総 口 数	8,059,144,217口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,138円

## ■損益の状況

項 目	当 期 自 2017年9月26日 至 2018年9月25日
(A)配 当 等 収 益	△8,436,303円
受 取 利 息	6,437,515
支 払 利 息	△14,873,818
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△6,423,000
売 買 損	△6,423,000
(C)そ の 他 費 用	△598,985
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	△15,458,288
(E)前 期 繰 越 損 益 金	110,791,492
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	399,859,490
(G)解 約 差 損 益 金	△384,320,593
(H) 計 (D+E+F+G)	110,872,101
次 期 繰 越 損 益 金(H)	110,872,101

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 〈注記事項〉

※当ファンドの期首元本額は7,606,795,223円、期中追加設定元本額は28,094,666,115円、期中一部解約元本額は27,642,317,121円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

バランスG(25)VA(適格機関投資家専用)	6,760,615,573円
DCターゲット・イヤールファンド2025	1,181,560,830円
DCターゲット・イヤールファンド2035	63,921,374円
DCターゲット・イヤールファンド2045	30,013,504円
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	9,880,568円
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	9,085,358円
ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	2,120,953円
米国成長株式ファンド	493,486円
グローバルCBファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)	345,772円
アメリカ高配当株オープン(毎月決算型)	296,510円
グローバルCBファンド・豪ドルコース(毎月分配型)	163,107円
ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	140,627円
グローバルCBファンド・米ドルコース(毎月分配型)	128,472円
アメリカ高配当株オープン(年2回決算型)	98,901円
TCAグローバル・キャピタルファンド(毎月決算型)	98,805円
グローバルCBファンド・資源国通貨コース(毎月分配型)	63,307円
グローバルCBファンド・円コース(毎月分配型)	51,066円
DCターゲット・イヤールファンド2055	38,958円
グローバルCBファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)	11,222円
SLI GARSファンド(SMA専用)	9,874円
グローバルCBファンド・豪ドルコース(年1回決算型)	992円
グローバルCBファンド・南アフリカランドコース(年1回決算型)	992円
グローバルCBファンド・資源国通貨コース(年1回決算型)	992円
グローバルCBファンド・円コース(年1回決算型)	992円
グローバルCBファンド・ブラジルリアルコース(年1回決算型)	992円
グローバルCBファンド・米ドルコース(年1回決算型)	990円

## お知らせ

該当事項はありません。